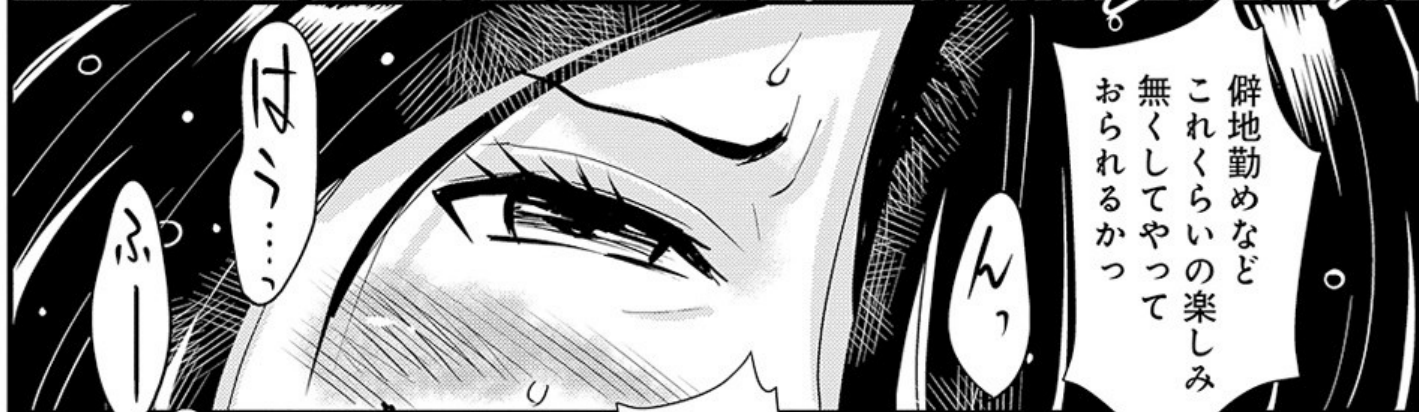
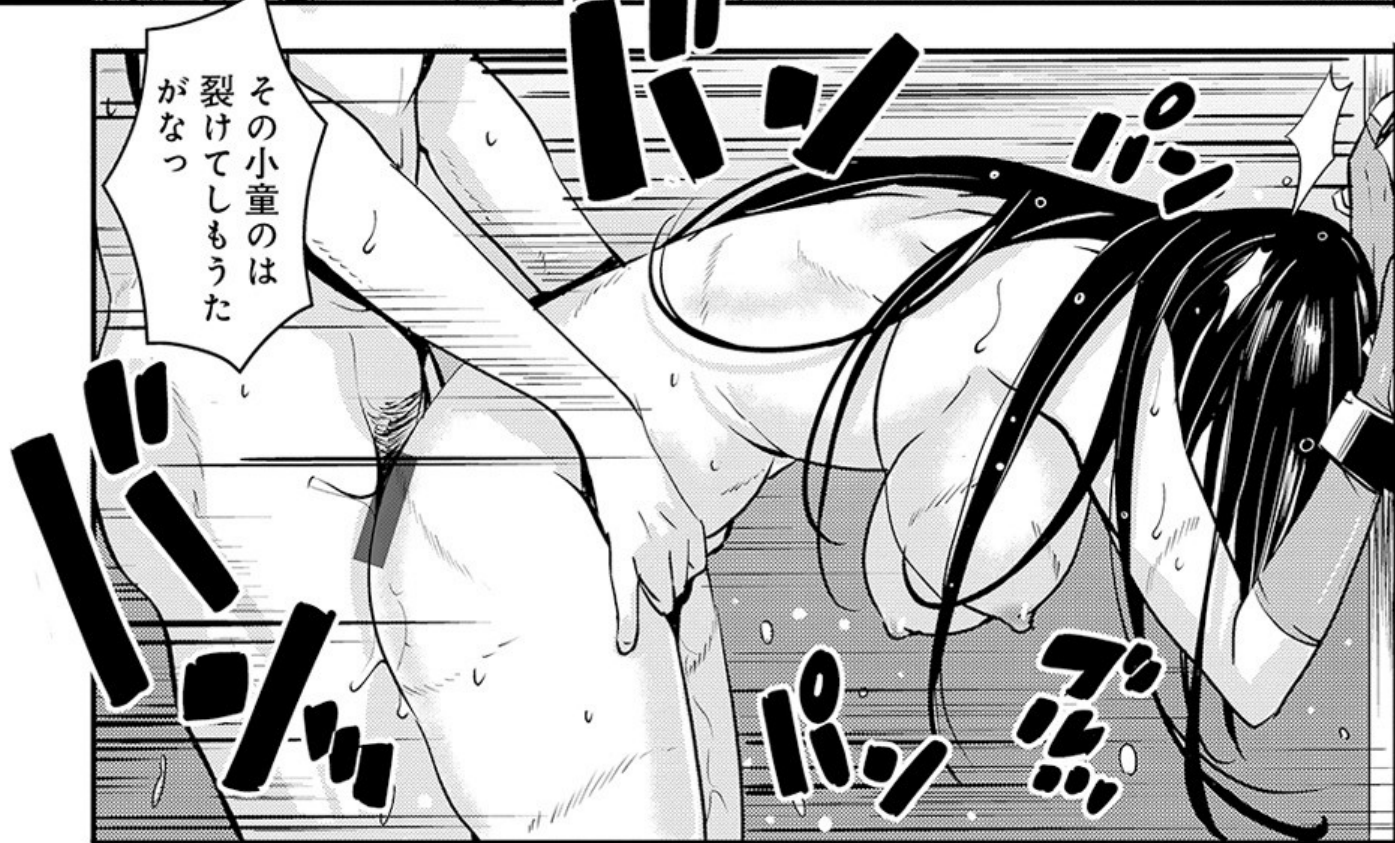














詮議を盾に
放題よ…



あの方は
兎に角、おいど

おい拙者
これから
多餉なぞ

尻穴に
執着する

老若男女
問わずでだ



おうおう
いつになく
荒れておるな

さてはその
おなごに
惚れたか

バ、バカを
申せつ

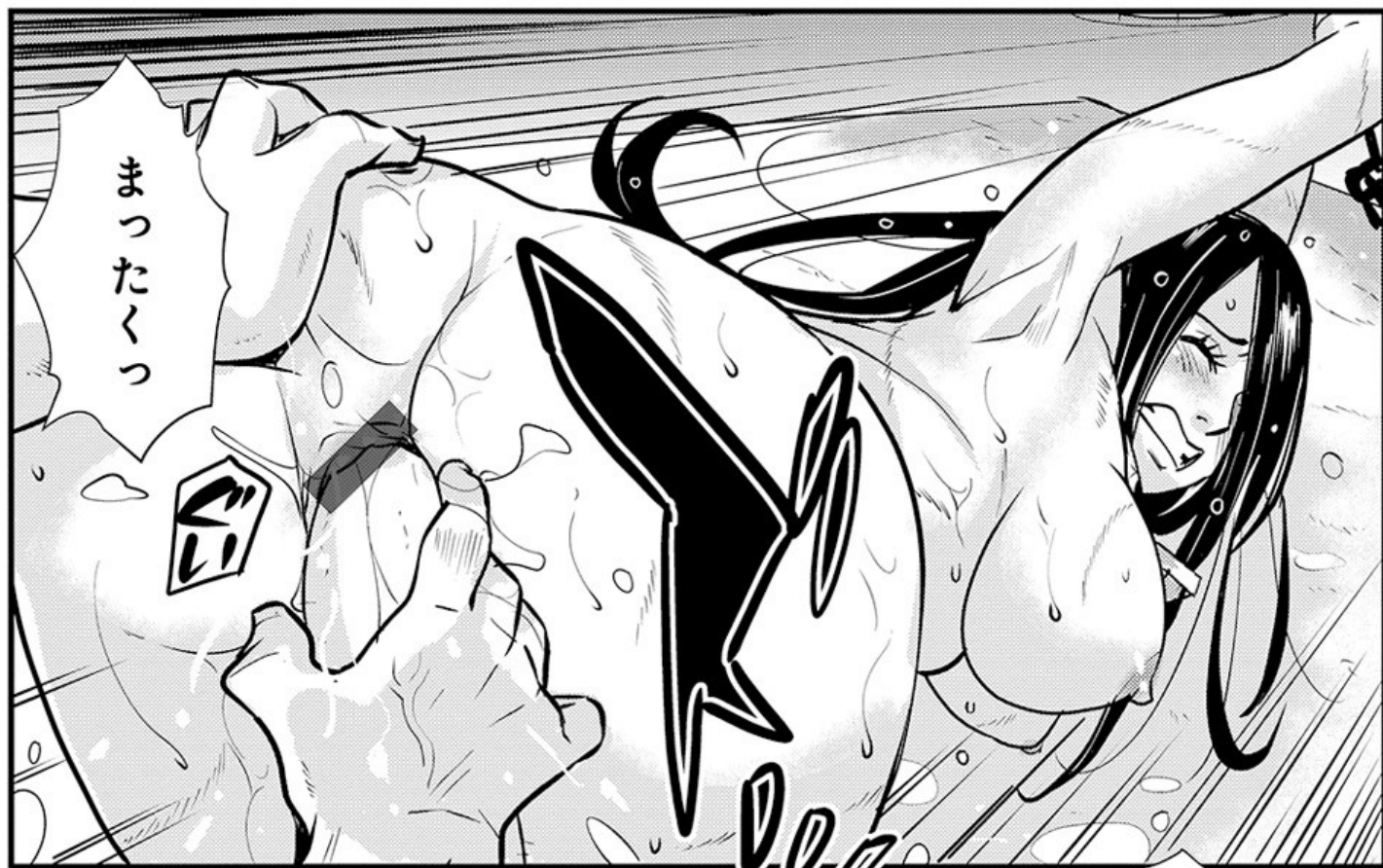


御上の十手を
預かる身として
恥ずかしいつ

あのお方は
お役目を
何と
されるのかつ



拙者はお役目
とはいえ
幼子のおる
あの女に
酷いことを…





よしよし
そのまま
力をぬけっ











腸を洗い流して
 やるにな



仕上げはこれよ

こいつは
 拙者の宝物でな
 渡来人より
 せしめた物よ



どれほど
 入るか楽しみじゃ







つづく...